

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2019年（平成31）年 第2週（1月7日～1月13日）

## 今週のコメント

～インフルエンザ～咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

### 定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベル超える」

第2週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,367例であり、前週比160.1%増(H30年52週比では3.5%減)であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、水痘の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ7.15、1.83、0.59、0.58、0.57である。

感染性胃腸炎は前週比184%増の1,422例で、南河内12.88、大阪市北部9.50、中河内8.00、大阪市西部7.90であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は179%増の365例で、堺市2.63、大阪市南部2.56、南河内2.31、泉州2.29である。

RSウイルス感染症は49%増の118例で、大阪市北部1.14、泉州0.71、北河内・中河内0.70であった。

流行性角結膜炎は329%増の30例で、三島1.50、南河内1.25、大阪市西部1.00である。

水痘は54%増の114例で、中河内1.40、南河内0.81、泉州0.57であった。

インフルエンザは151%増(H30年52週比233%増)の11,117例で定点あたり報告数は36.81となり、警報レベル開始基準値30.00を超えた。ブロック別では大阪市西部74.27、大阪市北部47.75、南河内44.96、堺市39.41、大阪市南部38.77、泉州37.38、北河内36.12の7ブロックが警報開始レベルを超えている。平成30年12月までの大阪府内のウイルス検出状況はAH1pdm09が大部分であった。

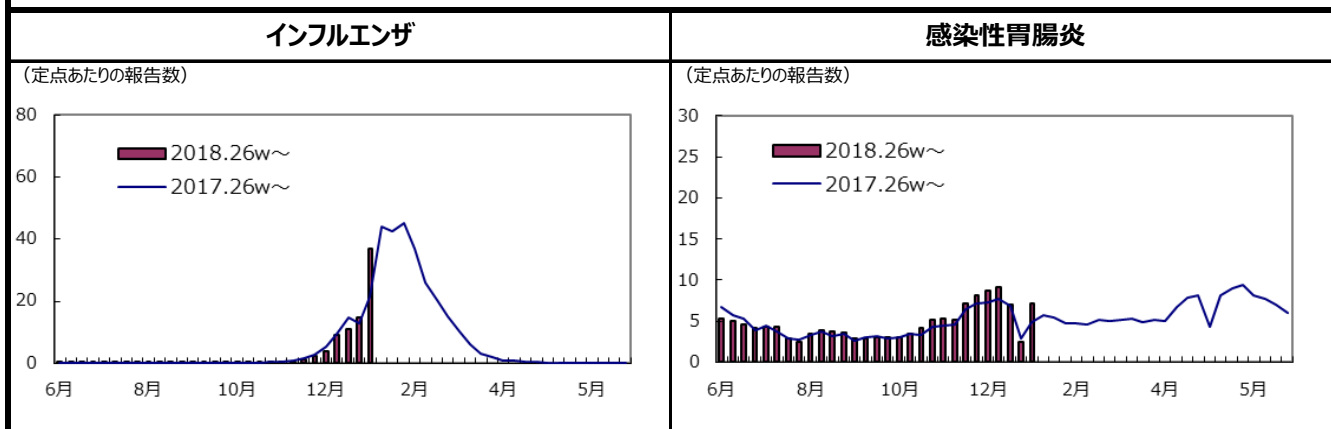


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2019（平成31）年 第2週1月7日～1月13日）

第2週の順位	第1週の順位	感染症	2019年 第2週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2018年 第2週の 定点あたり 報告数	2019年第2週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	7.15	184%増	4.85	1歳_19%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83	179%増	1.56	4歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.59	49%増	0.86	1歳未満_58%
4	7	流行性角結膜炎	0.58	329%増	0.31	20歳以上_80%
5	4	水痘	0.57	54%増	0.37	7歳_15%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	36.81	151%増	21.49	20歳以上_30%

## 第2週のコメント

～ デング熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

**全数把握感染症**

**デング熱**

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)  
[デング熱とは\(国立感染症研究所\)](#)

(累積報告数)

週	2015	2016	2017	2018
01週	0	0	0	0
03週	0	0	0	0
05週	0	0	0	0
07週	0	0	0	0
09週	0	0	0	0
11週	0	0	0	0
13週	0	0	0	0
15週	0	0	0	0
17週	0	0	0	0
19週	0	0	0	0
21週	0	0	0	0
23週	0	0	0	0
25週	0	0	0	0
27週	0	0	0	0
29週	0	0	0	0
31週	0	0	0	0
33週	0	0	0	0
35週	0	0	0	0
37週	0	0	0	0
39週	0	0	0	0
41週	0	0	0	0
43週	0	0	0	0
45週	0	0	0	0
47週	0	0	0	0
49週	0	0	0	0
51週	0	0	0	0
53週	0	35	20	21

表 2. 大阪府全数報告数 (2019 (平成31)年 第2週1月7日～1月13日)

\* ) 注意 : この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

	疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				1
4類感染症	A型肝炎	2			1					1	3
	デング熱	1	1								2
	レジオネラ症 (肺炎型)	1								1	3
5類感染症 (麻しん、風しんは除く)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2				1		1			2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1						2		7
	梅毒	6			1					5	7
	百日咳	4	1							3	10
結核 (2018年11月分)	結核 新登録患者数 : 167名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 66名) (府内累積報告数 1,673名、内 肺・喀痰塗抹陽性 652名)										
麻しん、風しん	麻しん 5名 (豊能 2名、大阪市 3名、府内累積報告数 8名) 風しん 6名 (豊能 3名、北河内 1名、泉州 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 8名)										

(2019年1月15日 集計分)